

## 地域づくり推進計画って？

川口中学校区では、令和3年（2021年）に川口中学校区地域づくり推進会議（以下「推進会議」という。）を立ち上げ、地域が主体的に活動していくための計画として「川口中学校区地域づくり推進計画（以下「推進計画」という。）」を策定しました。川口中学校区の住民として、より住みやすい地域になるために、何が必要か、地域の力を合わせてできることをまとめました。

推進計画の策定にあたっては、推進会議での検討、地域で活動する団体や住民のみなさまにご参加いただいたワークショップやフォーラムを通じて、地域ぐるみで検討を進めました。

## 推進体制・計画の進め方

推進会議は、多世代・多分野にわたる地域の活動団体や住民のみなさまが参画することで、地域でやりたいことを実現していく『プラットフォーム』として機能していきます。川口中学校区の地域の活動団体や住民が横のつながりを持ち、協力し合い、地域づくりに取り組めます。

川口中学校区のありたい姿として掲げた「地域の将来ビジョン」の実現に向けて、地域の魅力や特徴を活かして、課題を解決していく必要があります。そこで、住民主体で取り組んでいく7つの分野のアクションプランを考えました。優先的に取り組むアクションプランを実行しながら、その他のアクションプランについて検討し、ありたい姿に向けて取り組んでいきます。

## 地域づくりへのご協力をお願いします

地域の将来ビジョンの実現を目指した持続的な地域づくりは、推進会議参加者に加えて、地域のさらなる担い手や協力者の力が必要です。川口中学校区に在住・在学・在勤の方、ぜひ地域づくりの取組にご協力をお願いします。一緒にみなさまが安心して楽しく暮らすまちにしていきたいと思います。ともに川口中学校区を盛り上げていきませんか。

川口中学校区地域づくり推進会議 令和〇年（202〇）年〇月 発行

問合せ先：八王子市 未来デザイン室

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目 24-1

TEL：042-620-7307 FAX：042-627-5939 E-mail：b620000@city.hachioji.tokyo.jp

# 川口中学校区の 地域づくり

川口中学校区地域づくり推進計画 概要版

地域の将来  
ビジョン

川口中学校区の住民が考えた  
身近なまちのありたい姿です

住みたくなる、住み続けられるまち川口

～自然と共生し、大人から子どもまでの

つながりを大切に～

### 地域づくりをはじめよう

「幅広い世代が交流できるようになるといいな」「身近に集まれる地域の居場所がほしいね」「まちの行事や取組を共有したい」「豊かな自然を守っていくために何ができるだろう？」

まちの皆さんが地域の魅力や課題について話し合い、こうありたいと思う未来に向けて主体的に取り組んでいく「地域づくり」を進めていきます。



# 川口中学校区の地域づくり



川口中学校区は、上川町、川口町、美山町の全域と、犬目町の一部から構成され、八王子市西部に位置しています。中央部を川口川が流れ、それに平行するように秋川街道が通ります。また、秋川街道から南へ美山通り（都道 61 号線）があり、戸沢峠を越えた、川口川と北浅川に挟まれた台地に住宅が集中しています。

## 川口の魅力・特徴

### 地域環境

- 上川町と川口町、犬目町、榑原町は地域の居住環境が違う
- 犬目町、榑原町は建売住宅が増え、新住民が増加している
- 上川町は地域内での結束力が強い印象がある
- 美山町は戸沢峠を越えた地域で、美山町独自の文化がある

### 地域活動

- 川口町、美山町は住民活動が盛んである
- 川口中学校区には NPO 法人、ボランティア団体の活動が多い

### 自然・四季

- 動植物、山や川など豊かな自然に親しむことができる
- 四季の変化を感じることができる

### 良好な暮らし

- 静かでのびのび暮らすことができる
- 地域住民の交流があり、地域の人に見守られながら生活できる

## 川口の課題

### 公共交通手段の不足

- 川口小学校以西はバスの本数が少なく、車などの移動手段がないと不便である
- 道幅が狭く、交通量が多いため渋滞する

### 交流機会・居場所の不足

- 古くからの住民と新しい住民がつながる機会が少ない
- 日常生活のなかで、多様な世代が集まる場所、子育て世代や新住民との接点の場がない

### 地域活動の担い手の不足

- 60代～80代が地域活動の中心であり、若い世代の地域づくりへの参加が少ない
- 担い手が不足している

### 身近な活動拠点の整備

- 地域団体などが活動するにあたって、身近に集まれる拠点が少ない

### 情報発信・共有の不足

- 地域の情報が一括で入手できるような機能、しくみがない
- 地域の活動団体同士がお互いの活動内容を知らない

### 防災・安全

- 空き家が多い
- 身近に避難所が少ない

## 川口中学校区の将来ビジョン

中学校区ワークショップや地域づくり推進会議の中で、地域住民が川口中学校区のありたい姿の検討を行い、地域の将来ビジョン（目標）を掲げました。

## 住みたくなる、住み続けられるまち川口

～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～

将来ビジョンに込めた思い

「地域のあらゆる世代」、「地域の住みやすさ」、「自然の豊かさ」の3つのキーワードをもとに、地域に住む子どもから大人までの人々が、つながりや結びつきを大切にしていきたいという思いから将来ビジョンを決定しました。

アクションプラン

【優先的に取り組むアクションプラン】

1

## プラットフォームづくり

～地域の情報や担い手が集まる場づくり～

季節のイベントや防犯パトロールなど、住民活動が盛んな川口中学校区。多くの団体が活動しているがゆえに行事が重複し、せっかくの力が分散してしまう等の問題が生じています。こうした現状から、地域の情報を集約した「コミュニティカレンダー」の作成や、さまざまな年代の方が顔を合わせるきっかけとなる「マルシェ」の開催などを実現し、地域住民の活動につながりと広がりを生み出していきます。

### コミュニティカレンダーづくり



地域内の各団体や組織が横のつながりを持ち情報を共有することにより、地域がより活性化することを目指してコミュニティカレンダーをつくる

### マルシェの開催



川口地区の活性化のため、地域内で顔の見える関係づくりを行うことを目的に、マルシェを実施する

アクションプラン

2

## 活動拠点の整備

アクションプラン

3

## 地域の担い手の育成

アクションプラン

4

## 地域情報の発信力の強化

アクションプラン

5

## 交通利便性の向上

アクションプラン

6

## 地域コミュニティの活性化

アクションプラン

7

## 行政との連携強化

※2～7のアクションプランについては、令和4年度（2022年度）に検討していきます。